

令和元年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「障がい児支援のための感覚統合ケアサービス整備計画」
供与式の実施

令和6年1月19日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「障がい児支援のための感覚統合ケアサービス整備計画」（供与限度額：46,213米ドル（5,083,430円））の供与式が、エレバン市障害児のためのルース・リハビリセンターにおいて行われました。本式典には、青木豊駐アルメニア日本国大使、ギャラガー駐アルメニア英国大使、ホヴァニシャン・エレバン市行政政府社会保護局長、アルズマニャン・エレバン・マイラブ財団代表等が出席し、その他、本案件関係者や同センターに通う子どもとその保護者ら約50名が参加しました。

本案件は、感覚統合治療用リハビリ機材を障害児のためのルース・リハビリセンターに導入し、障害児に対し質の高いリハビリを提供することで、彼らの健全な発育と心理社会的発達に貢献することを目的に実施されました。本案件の実施により、同施設を利用する年間約200人が直接的に裨益します。



青木大使およびアルズマニャン代表による
テープカット



供与機材を使用する児童



アルズマニャン代表によるスピーチ



青木大使によるスピーチ